

令和3年度 校長より ⑩

12月15日、全国高等学校文化連盟全国新聞専門部事務局から第26回全国高校新聞年間紙面審査賞の結果が届き、本校新聞委員会が作成した大船高新聞第139号が奨励賞を受賞しました。顧問によればこの審査での受賞は4年ぶりとのこと。新聞委員会の生徒の皆さん、誠におめでとうございます。今後も県内や全国での活躍を期待しています。

12月24日には、2学期の終業式が行われました。私からは3点お話をさせていただきました。1点目はコロナについてです。2学期においては、本校では一人の罹患者を発生させることなく第5波を乗り切ることができたこと、これは、生徒の皆さんが自覚をもって感染防止対策を徹底してくれたお陰であること、また、生徒たちのみならず、周りの人たちも一緒になって感染防止に取り組んできたお陰であることなどについてお話させていただきました。2点目は「六国祭」についてです。通常通りの開催を断念せざるを得なかったが、「ろっこくそうむ」や「六国祭実行委員会」が働きかけをしてくれたお陰で、「応援」「チア」「仮装」「パネル」の「学習活動発表会」を実施することができたこと、団長やカラー幹部のリーダーシップや一人ひとりの生徒の姿に感心をさせられたこと、対外的な問題から「学習活動発表会」と称したが、校長としては、当日に向けて取り組んだこと、発表会当日のこと、事後のこと、また、11月24日の花火を実現させたことの全てが、令和3年度の大船高校の「六国祭」であったと認識していること、これまでのどの「六国祭」にも引けを取らない特別に価値のある「六国祭」であったと知っていることなどについてお話させていただきました。3点目は、部活動についてです。2学期には、いくつかの部活動で全国や関東への出場を決めたこと、このところ安定的に結果を残す部活動が出てきていること、大きな成果には結びつかなくても、常に高みを目指して取り組んでいる部活動があること、コツコツと地道に取り組み、本校の特色となっている部活動があること、部活動で学んだことを、学校生活や社会生活でしっかりと実践しようとしている部活動があること、そうした部活動に取り組む生徒たちには、お互いに切磋琢磨し、お互いを認め合い、良い点を学び合い高め合い、良きライバルで良き仲間の関係であってほしいことなどをお話させていただきました。最後に表彰として、文芸部が全国高等学校総合文化祭に参加することなどを紹介させていただきました。

1月7日から3学期が始まりました。前日の大雪により生徒たちの登校時の安全を第一と考え、予定していた始業式は中止としました。白銀となった街並みを眼下に、生徒たちは元気に登校いたしました。たくましい生徒たちの姿を見て、心も体も成長していることを実感いたしました。

この年末年始でオミクロン株が急激に拡大しています。これまでのどのコロナ株よりも感染速度が速いとされています。生徒たちには、自分の体調管理をしっかりと行い、充実した学校生活となるように3学期を過ごしてほしいと思います。保護者の皆様におかれては、引き続きご家庭における感染防止対策の徹底をよろしく願います。

令和4年1月

神奈川県立大船高等学校 校長 幸田 隆